環境・観光産業常任委員会の概要について

開催日時：令和８年６月１６日（火）午前９時３０分

議事案件・報告事項一覧（１）

No.	分類	議案	詳細ページ
1	案件	幕山公園駐車場料金の検討について	Ｐ４
2		立地適正化計画の策定について	Ｐ５
3		湯河原町水道ビジョン・経営戦略（案）及び下水道事業経営戦略（案）について	Ｐ６～Ｐ１２
4		閉会中の継続調査（所轄事務等）申出について	
5	報告	令和８年度防災に関わる訓練について	
6		令和８年度夏季行事について	
7		令和７年度湯河原梅林「梅の宴」実施報告について	
8		令和７年度指定管理者によるこごめの湯・万葉公園の利用状況について	
9		令和７年中のニホンザルの生活被害状況調査結果について	

議事案件・報告事項一覧（２）

No.	分類	議案	詳細ページ
１０	報告	小田原市・足柄下地区ごみ処理広域化基本構想について	Ｐ１３
１１		湯河原町真鶴町でのプラごみ当資源化減量化に向けた取り組みについて	
１２		令和７年度ごみ等の回収状況について	
１３		令和７年度指定管理者による公園施設の利用状況について	
１４		路面下空洞調査について	Ｐ１４

幕山公園駐車場料金の検討について

- 概要：物価、人件費高騰等影響により、駐車料金を値上げするもの。１００万円程度の増収見込み。ただし、町民料金について料金体系のアンバランスや、煩雑等の指摘があり、継続案件となった
- 内容：

<現行>

No.	駐車場	平日		休日	
		町外	町内	町外	町内
1	第１・第２駐車場	５００円	３００円	５００円	５００円
2	第３・第４駐車場	５００円	３００円	５００円	５００円
3	第５・第６駐車場	３００円	２００円	３００円	５００円

<改正案>

No.	駐車場	平日		休日	
		町外	町内	町外	町内
1	第１・第２駐車場	**７００円**	３００円	**７００円**	５００円
2	第３・第４駐車場	５００円	３００円	５００円	５００円
3	第５・第６駐車場	３００円	２００円	３００円	５００円

<コメント>
経費全体ではなく安全対策等の経費上昇分への補填であり使用目的が明確であること、また近隣市町の料金を参考にした２つの理由により賛成。

立地適正化計画の策定について

<コメント>
居住区や都市機能のコンパクト化は必要。ただし、観光地としては拡大していかなければならないという、２つの相反する関係性が本町には存在する。それらに対してどのようなバランスを保っていくのか留意が必要。また公共施設の建て替え等に本補助金を上手に活用したい。

- 立地適正化計画とは：

  持続可能なまちづくりを目指し、人口減少社会に対応したコンパクトシティを実現するためのマスタープラン。戦略的な補助金の導入に当たり、各市町村は立地適正化計画の策定が必須条件になっている

- 湯河原町の課題：

短期的な課題	駅下区画整理地区および海辺商業エリアへの土地利用誘導
	空き地・空き家の増加
	駅周辺、温泉場、吉浜・福浦の活性化に向けたタウンマネジメント
	庁舎、学校の用地の再編、活用に向けた誘導施策

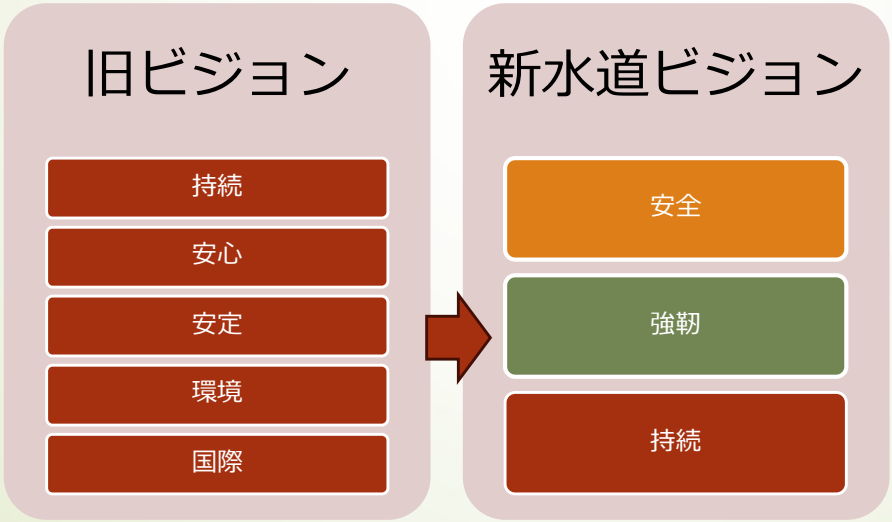
- スケジュール：令和１０年１２月　立地適正化計画公表

湯河原町水道ビジョン・経営戦略（案）及び下水道事業経営戦略（案）について（水道１）

- 水道ビジョンとは：

  安全な水の供給や施設の耐震化、健全な事業経営を目指して、水道事業者が作成する将来の計画や指針。湯河原町は令和８年～令和１７年を計画期間とする

- 水道ビジョン基本理念（国土交通省）：



湯河原町水道ビジョン・経営戦略（案）及び下水道事業経営戦略（案）について（水道２）

- 湯河原町の水道事業について：

水道事業の特徴

- 自然環境を生かした水源を有している
- 地形の高低差を利用した効率的な配水が行われている
- 民間の簡易水道を順次統合

水道事業の課題

- 給水人口の減少に伴う給水収益の減少
- 施設の老朽化、耐震化に伴う投資費用の増大

湯河原町水道ビジョン・経営戦略（案）及び下水道事業経営戦略（案）について（水道３）

<コメント>
粛々と更新していくしかないが、改めて数値化するとお先真っ暗な状況と言える。ただしこれは本町に限らず全国的な問題であるため、国が推し進めるようとしている上下水道一体化、広域統合、分散型等の施策に期待し、追随していきたい。

- 管路の老朽化について：

  管路延長：約１５６ｋｍ　管路更新率：０．３７％／年

  →　現在の更新率で更新した場合、下記①＋②の更新に１７５年掛かる

No.	分類	経過年数	長さ	割合
①	現在法定耐用年数超過	４０年以上	１１ｋｍ	３３％
		布設年不明	４１ｋｍ	
②	１０年後法定耐用年数超過	３０年以上	４９ｋｍ	３２％
③	その他	３０年未満	５５ｋｍ	３５％

- 現有資産（土木、建築、機械電気、管路）の更新について：全ての資産を法定耐用年数で更新した場合、令和８年度～令和５７年度までの総額として、５１２億円掛かる。年平均に換算すると約１０．２億円になり、過去５年平均建設改良費の１０倍に相当する

湯河原町水道ビジョン・経営戦略（案）及び下水道事業経営戦略（案）について（水道４）

- 耐震化について：管路の耐震管率は高いが、施設の耐震化は大幅に遅れている

No.	施設	耐震化状況	
		湯河原町	全国平均
①	管路	６７．９％	１６．３％
②	浄水施設	１２％	４３％
③	配水池	２６％	６７％
④	取水施設	０％	４５％

湯河原町水道ビジョン・経営戦略（案）及び下水道事業経営戦略（案）について（水道５）

<コメント>
湯河原町の水道事業は、他市町村と比較して老朽化は進み、耐震化は遅れている状況ではあるが、経営自体は、黒字経営であり、水道水もとても美味しい。それらは関係者の努力によるものと言えるが、健全経営ゆえに制度上、国から補助金を受けられないというジレンマが存在する。

今後の方針：

老朽化

- これまでの検討を検証し、整備計画を策定・実施

耐震化

- 被災時、急所となる施設を優先して耐震化　→浄水施設を優先

財源確保

- 国庫補助金の活用等ができるように国等へ働きかけ
- 起債の一部に地方交付税措置がされる制度の積極的活用
- 水道料金の改定　→令和１７年度まで２回程度

湯河原町水道ビジョン・経営戦略（案）及び下水道事業経営戦略（案）について（下水道１）

<コメント>
処理能力の半分しか使用していない状況。湯河原町の水洗化率は９割を超えているため大幅な使用量の増加は見込めない。ただし、真鶴町の水洗化率は４３％（令和５年度）と低い水準であることから、真鶴町にて水洗化率を高める施策が講じられることを望む。

- 湯河原町の下水道事業について：

下水道事業の概要

- 供用開始：昭和６０年度（供用開始４０年）
- 広域化：供給開始より熱海市の一部区域を取り込み。平成１９年度から真鶴町を取り込み

下水道事業の概況

No.	分類	項目	数量
①	管渠	公共下水道	１１５ｋｍ
②		特定環境保全公共下水道	３ｋｍ
③		雨水	２ｋｍ
④	処理場	計画処理能力	２１．８７５㎥／日
⑤		日平均	１１．２７５㎥／日

湯河原町水道ビジョン・経営戦略（案）及び下水道事業経営戦略（案）について（下水道２）

- 老朽化について：法定耐用年数（５０年）を経過した管渠は現時点で存在しないが、最も古い管渠は４８年を経過しているため、再来年には更新が必要

No.	項目	状況	
		湯河原町	類似団体平均
①	有形固定資産原価償却率	２９．６９％	２５．６９％
②	管渠老朽化率	０％	２．９０％
③	管渠更新率	０％	０．１６％

＜コメント＞
処理場施設も４０年を経過しているため、令和１３年度より改築・更新工事（総額約３１．２億円）を予定している。

小田原市・足柄下地区ごみ処理広域化基本構想について

- 概要：現在、２系統（足柄下郡系統、小田原市系統）存在するごみ処理系統を１系統するための検討を実施
- 稼働目標・効果：令和１７年度から２２年度施設集約を目標。２０３億円の事業費削減効果を見込んでいる
- 広域化方針：

No.	施設	必要施設規模		留意点	方針
		必要量	面積		
①	可燃ごみ	２４０ｔ／日	約３ｈａ	市街地に近いほど、収集運搬コスト低減や、余熱利用先検討が容易	経済効率・環境負荷の観点から小田原市に設置するのが望ましい
②	リサイクル	４９ｔ／日	約１ｈａ	資源物の搬出先（利用先）に近い方が有利	可燃ごみ処理施設に併設することが望ましい
③	最終処分場	１０万㎥	約３ｈａ	インフラよりも地盤や地下水の状況を優先	役割分担から３町地域に分散して整備していくことが望ましい

<コメント>
広域化留意点及び方針から、可燃ごみ施設・リサイクル施設は、小田原市に建設され、最終処分場は、足柄下郡地域に建設されることが予想される。

路面下空洞調査について

- 概要：令和８年２月末町道吉浜５６号線白沼田バス停付近で１ｍ×１ｍ×０．５ｍの空洞が発覚した。原因は雨水管の損傷による雨水の流出によるもの。それにより周辺路線で路面下空洞調査を実施
- 結果：路面下空洞探査車（車載型地中レーダ）を使用し、当路線１ｋｍについて調査を実施したところ４か所で空洞が発覚した。空洞の状況は掘削してみないとわからない
- 今後の方針：令和８年度は主要路線を調査。令和９、１０年度は主要道路を調査
- 路面下空洞探査車（車載型地中レーダ）について：

No.	項目	仕様
①	探査深度	１．５ｍ
②	探査幅	１．６ｍ
③	探査能力	５０ｃｍ×５０ｃｍ×１０ｃｍの空洞を検出

＜コメント＞
路面空洞探査は業者へ委託して実施するものであるが２３ｋｍ程度で約１千万円の費用が掛かる。多額の予算確保が必要だが優先度を上げて調査を実施してほしい旨の要望を伝えた。